

4/14 県報

## 40年超再稼働反対 知事らに署名提出

### オール福井反原発連絡会

県内の市民団体でつくる「オール福井反原発連絡会」は十三日、運転開始から四十年を超えた関西電力美浜原発3号機(美浜町)、高浜原発1、2号機(高浜町)を



畑議長宛ての署名を提出する連絡会のメンバー(左)＝県議会議事堂で

再稼働しないよう求める署名を杉本達治知事と県議会の畑孝幸議長宛てに提出した。

署名は杉本知事宛てが三千四百九十四筆、畑議長宛てが三千四百九十三筆。いずれも八割以上が県外の住民だった。原発で事故が起きた場合の避難計画が十分だとして、再稼働に反対している。連絡会のメンバー三十人が同日、県議会議事堂を訪れ、県と県議会の担当者に手渡した。

提出後、県議会厚生常任委員会の代表者との意見交換会が非公開であった。連絡会は、議会側が全員協議会で再稼働の議論を進めようとしていることに対し、六月定例会で時間をかけて議論するように要望。原発問題住民運動県連絡会の林広員事務局長(左)は、面談後「全協のような密室ではなく、しっかりと議会で議論する場を設けてほしい」と話した。田中宏典委員長は「性急に結論を出さないでほしいとのことだった。意見を他の委員や議長に伝えたい」と述べた。

このほか連絡会は、今月杉本知事が公表した国の新

たな交付金を問題視するネット署名千七百七十一筆を県と県議会に提出した。四十年超運転となる高浜、美浜両原発への計五十億円の交付を「ばらまきによる再稼働推進」と批判し、杉本知事らに再稼働に同意しないよう求めた。(浅井貴司)